

プログラム・マネージャーによる研究開発機関の追加選定について

「革新的研究開発プログラム運用基本方針」（平成 26 年 2 月 14 日総合科学技術会議）に定めるとおり、研究開発機関の選定は、一義的にプログラム・マネージャー（PM）の権限であるが（有識者会議への報告は必要）、PM に関係する機関（PM との利害関係機関など）を選定する場合は、推進会議による承認が必要（当該機関の必要性、合理性、妥当性を判断）。

PM による研究機関の追加選定にあたり、PM に関係する機関が含まれていなかったことから、有識者会議に対し、公募選定等による研究開発機関の追加を報告するもの。

PM	追加予定機関数	うち指名によるもの	PM 関係機関と PM との関わり
合田	1(0)	1(0)	－
佐野	5(0)	0(0)	－
山本	2(0)	2(0)	－
原田博	1(0)	1(0)	－
合計	9(0)	4(0)	－

() : PM 関係機関数

・合田 PM

プロジェクト 4「細胞同定技術開発」において、プロジェクト 3「細胞計測技術開発」が取り組む複数の細胞計測技術を用いた測定結果を解析し、高速化に適した精度の良いパターン認識アルゴリズムを解析して細胞を同定することを目的として、非公募（指名）により研究機関を追加。

（追加研究機関）

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
4「細胞同定技術開発」	エルピクセル株式会社	朽名 夏磨

・佐野 PM

当初計画から公募を予定していたプロジェクト 3 H「超小型パワーレーザーの応用」について、アイデア公募を実施し、超小型パワーレーザーを社会実装するためのフィージビリティスタディーを行う目的で、5 件を新たに研究開発機関として選定するもの。

(追加研究機関)

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
3 H 「超小型パワーレーザーの応用」	つくばテクノロジー株式会社	高坪 純治
	近畿大学 工学部建築学科	崎野 良比呂
	産業技術総合研究所	新納 弘之
	株式会社 IHI エアロスペース	松浦 芳樹
	長岡技術科学大学 大学院工学研究科機械創造工学専攻	勝身 俊之

・ 山本 PM

プロジェクト 1 「量子人工脳」において、社会実装に向けた出口について、スパースサンプリング（圧縮センシング）を用いた医用画像処理の分野及び、充足可能性問題を用いたソフトウェア検証の分野を想定し、新たに非公募（指名）により、2つの研究機関を追加。

(追加研究機関)

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
1 「量子人工脳」	京都大学 大学院情報学研究科	大関 真之
	東京工業大学 大学院情報理工学院情報工学系知能情報コース	青西 亨

・ 原田博 PM

「ファクトリセキュリティ」プロジェクトにおいて、最終目標とする「つながる工場」を実現するためには、生産状況を監視する機器・ネットワークシミュレータ内部に仮想生産システムを組込む必要がある。このため、仮想生産システムの第一人者であり、実仮想融合型生産スケジューリング方式等で高い評価を受けている研究成果を多数上げている当該研究機関を非公募（指名）により追加。

(追加研究機関)

実施プロジェクト	研究機関名	研究代表者名
「ファクトリセキュリティ」	神戸大学 大学院システム情報学研究科	貝原 俊也